

ぎんまい長岡京

長岡京吟詠会 会報
第38号 令和4年4月1日
発行 長岡京吟詠会
会長 本庄賀秀峰

長岡京吟詠会 創立 50 周年を迎えて

城戸賀秀義



昭和 63 年の年の瀬に 80 歳を越えた千阪賀秀先生のうぐいす台のご自宅に初めて伺いましたが心良く迎えて下さり、私は 70

歳で他界した父親と同世代の先生に親近感を持ち詩吟の一步を踏み出しました。その後、数年研修会にも参加させて頂き乍ら府連盟の行事、姫路本部との連絡等と千阪先生のお供をする事から、吟界の様子も少しづつわかるようになり、平成 12 年吟詠会の事務局を預かる事となり、連盟事業部の業務を通じ各流派の先生方とも親しく接することが出来、尚又やりがいのある事でもありました。平成 13 年 12 月、日頃元気な 97 歳の千阪会長が突然のご逝去、年末の葬儀となり、姫路本部、連盟各流派と吟詠会総出の御見送りで大きな支えを失う事になりました。そして、後任会長、小林賀清風先生に引き継がれることとなりました。当時会員長岡京 225 名、牧水 185 名、合計京都本部 410 名気持ちも新たに平成 14 年 10 月、小林賀清風会長先頭に『長岡京吟詠会創立 30 周年・千阪賀秀師追悼記念大会』が、ホテル京都エミナースで開催、姫路本部宗家始め、連盟各流派の先生方のご来場に盛り上がり吟詠会全員の協力のもと、記憶に残る出来事でほっとすると同時に事務局長としても、少しは自信も持てた事でその後の吟詠活動の礎にもなった様に思います。現在、コロナ禍と云う事もあり、集まる事も声を出すこともためらう状態が続いています。私も 90 歳を越え、現役からは遠ざかりましたが、本庄会長のもと長岡京吟詠会の益々の発展をお祈り致します。

愛連吟詠フェスティバルに感動！

ここだけは別世界かとビックリする程、ほぼ満席の熱気の中、コロナも吹き飛ばす勢いで、盛大に開催されました。「来場の皆様には来てよかったと喜んで頂けるよう、精一杯の力溢れる熱吟を披露し、感銘をお届けできればと思っております」との力強い矢間理事長のご挨拶の通り、迫力満点でした。どの吟詠も、いつも以上に熱を感じ、感動的に思ったのは、去年は入場制限、一昨年は中止と、辛い経験を経ての開催で、二年分、三年分の思いがあったからに相違ないと感じました。また、賀堂流から参加の平山賀宝弓さん（歴代吟士権者）の吟詠、そしてナレーションも素晴らしいものでした。来年も楽しみにしています。皆さんも鑑賞されることをお勧めします。（普及・広報部）



総会議案文書賛成多数で可決

中止となった会員総会の議案の文書採決を 3 月 2 日に集計した結果は下記の通りで、議案は可決されました。同時に出されたご質問、ご意見についてはまだ十分討議が出来ていませんので、追って回答をする予定です。

	賛成	反対	保留	白票	合計
事業報告	90	0	3	0	93
決算・監査	85	0	8	0	93
事業計画	87	1	5	0	93
予算	84	0	9	0	93
会則削除	82	1	7	3	93

有権者 98 名、投票者 93 名、棄権 5 名
(会員数 103 名、幼少年会員 5 名)
(執行部)

事務局次長に後藤洋子さん！！

このたび、空席だった事務局次長を後藤洋子さんをお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。色々とお忙しいと存じますが、よろしくお願い致します。会員の皆さんのご協力もお願い致します。

(会長 本庄賀秀峰)

中江賀秀山先生を偲んで

長尾賀秀剣

先生は少年時代、間人の海の丘の上から小舟に向かって大きな声を出して発声練習をされていたそうです。それから、いろんな機会に色んな所で詩吟の普及と指導に努めて来られました。晩年も、柴の里詩吟クラブ、わかたけ詩吟クラブ、府民教養講座、ライトハウスなどで幅広く活動されていました。私が初めて詩吟を指導して頂いたのが中江先生で、大変お世話になり色んな事を学ばせて頂きました。いつも吟に親しみ吟を楽しむご指導で、漢詩や吟詠の奥の深さも教えて頂いた様に思います。先生は吟詠の指導者である前に常に教育者の顔を持たれていた方でした。私は先生の後を継いで「わかたけ詩吟クラブ」の代表を務めていますが、先生のこの姿勢も引き継げるように心がけたいと思っています。月夜には月の小高い丘の上から地球に向かって先生が吟じられる、吟道賀堂流中江節が聞こえてくる様な気がします。先生本当にありがとうございました。

R4/4・5月の予定



勝竜寺城のしだれ桜

長岡京吟詠会

4/ 6(水) 13:00	企画・研修部会	公民館 視聴覚室
4/ 6(水) 14:45	連絡会	公民館 視聴覚室
4/13(水) 14:00	執行部会	産文 2階1会議室
4/20(水) 13:00	運営会	公民館 視聴覚室
4/20(水) 14:45	連絡会	公民館 視聴覚室
5/ 4(水) 13:00	企画・研修部会	公民館 講座室
5/ 4(水) 14:45	連絡会	公民館 講座室
5/11(水) 14:00	執行部会	公民館 学習1
5/18(水) 13:00	運営会	公民館 視聴覚室
5/18(水) 14:45	連絡会	公民館 視聴覚室
5/22(日) 14:45	公サ連まつり	公民館市民ホール

4/17(日)の(長)吟士権者大会は延期。本年度実施の方向で調整中。

京都本部・総本部

5/ 1(日) 賀堂流審査員研修会 姫路飾磨図書館

府連・府総連・財団

4/16(土)	府連審査員研修会	京都アスニー
4/21(木)	府総連剣詩舞審査員研修会	右京ふれあい文化会館
4/24(日)	財団全国吟詠コンクール京都大会	ラポール京都
5/ 8(日)	府連吟士権者決定京都大会(一部・シニア他)	ラポール京都
5/22(日)	剣詩舞コンクール京都大会	右京ふれあい文化会館

発表会を楽しく開催！！

わかたけ詩吟クラブ 長尾賀秀剣

桜には少し早い3月20日に、わかたけ詩吟クラブは第3回目のクラブ発表会を開催しました。クラブ外の方の応援も得て10人の参加で22番の発表と番外の発表もありました。緊張感の中にも楽しく各自の持ち味を発揮することが出来たと思っています。来年はコロナの心配をせず、もっと楽しく充実した発表会にしようと考えています。

府連二部に3名が挑戦！！

6月26日に実施される、府連二部(指導者の部)の大会に、辛嶋賀秀感さん、櫻井賀秀眺さん、米山賀秀琳さんの3名が出吟されます。ご健闘をお祈りします。

「入会のしおり」の活用を！！

詩吟や長岡京吟詠会のことを簡潔でしかも詳しく記されています。詩吟の普及と会員拡大に積極的に活用してください。若干手持ちがありますので、必要な方はご連絡ください。(普及・広報部)

会員名簿が完成しました！！

予定より遅れましたが令和4年度の会員名簿がやっと完成し、皆さんにお届けする運びとなりました。昨年までの名簿より随分簡素になっておりますが、会の運営に活用してください、但し、会の活動以外には絶対に使用しないでください。(事務局)

令和4年度 新入会員ご紹介

よろしく
お願いします



まるた かおる
丸太 薫 さん

住 所：亀岡市

入 会：令和4年1月より

クラブ：亀岡詩吟クラブ

40数年前アパートの大家さんにお声をかけていただいたのが詩吟との初めての出会いでした。3年ほど習いましたが当時教室の中でも一番若かった私は口の開け方から抑揚など真似ることに必死でした。令和元年夏、本庄先生の賀堂流詩吟教室にご縁があり参加させて頂いてみて、毎回教えていただくことがとても楽しくなってきました。そして、最近になり吟ずるには漢詩の意味や、歴史的背景を知り、その上で、作者の気持ちをいかに表現するかが大事であることが分かり、それには、やはり会員としてしっかり学んでいく必要があると思いこの度入会しました。よろしくお願いたします。

シリーズ「クラブ紹介」その2

【友岡 詩吟クラブ】

福岡賀秀泉

(発足 昭和五十年)

私は昭和四十九年頃に京都市から当時の乙訓郡長岡町に転居して来ました。当時の長岡町は、竹林や畠が多く、旧事の西国街道の辺でした。当時は友人や知人も無く、京都市内に通勤しておりましたが、近所の方から、詩吟を教えている人がいると聞き、林克宏先生の友岡詩吟クラブに入会させて頂きました。先輩に稲場さんや久保田さん、そして近所の女性が居られました。林先生がお仕事の都合で退会されましたので、今度は、千阪会長や円藤先生をはじめいろいろな先生にお世話になり、いつの間にか師範代の資格を取り、山で知り合った方や近所の方、家内を巻き込んで友岡詩吟クラブを引き継ぐことになりました。あれから四十年余りの歳月が過ぎ、私も米寿の誕生日が近づきました。詩吟は心身の健康に良く、認知症の予防にもなると、最近は楽しんでおります。

寄稿募集しています。

【ぎんまい長岡京】では皆さまの寄稿を募集しています。会員同士で吟詠の事を紹介し相互に学び合ひましょう

連絡先 尻枝賀秀道 Tel: 075-954-9092

『ぎんまい長岡京』 編集室

チーフ 尻枝賀秀道

メンバー 市丸、櫻澤、西本、後藤、宮小路

※連絡先 尻枝賀秀道

Tel: 075-954-9092

